

長研だより

No. 4

発行日 12月6日（金）

次長講話 山田順一

11月19日（火）に、山田順一次長の講話がありました。山田次長からは、法令の体系について、教員の給与体系について、教育委員会制度についての大きく3つの話がありました。どのテーマも詳しく聞く機会がないため大変勉強になる研修になりました。長期研修生からは「法律はすぐ身の回りにあるものの、ぼんやりとしたものと感じていたが、今回すっかり整理できた。」という感想がありました。



教育相談課長講話 小松 智樹

11月25日（月）に小松課長の「教師としての生き方」に関する講話がありました。

冒頭では、自身の失敗談とそこから得た教訓についての話がありました。次に、「リフレーミング」についての話があり、ポジティブな声かけの大切さについて学びました。最後に「エゴグラムチェック」の演習があり、長期研修生は自分の行動パターンを改めて見つめ直すことができました。「今後は自分の長を生かして、目の前の児童生徒に接していきたい。」等の感想が聞かれました。



研究内容検討会：授業実践の内容を吟味しました。



12月2日（月）に、研究内容検討会を行いました。今回は現地研修での授業実践の分析について検討しました。目指す児童生徒像に到達するための手立ては有効であったか等、根拠を示しながら発表することができました。今年は、「伝える力の向上」をテーマに発表しています。長期研修生は、原稿を朗読するのではなく、相手意識をもってプレゼンテーションを行うことができるようになってきました。

研究発表会では、自分の研究に自信と思いをもって堂々と発表することを目指します。

現在、朝のスピーチを「思い出の児童生徒」というテーマで行っています。児童生徒との楽しい思い出や感動の思い出、つらい思い出等、内容は様々ですが、全ての思い出は人間性を高めてくれる貴重な経験ばかりです。聞いている長期研修生も、それぞれ自分の学校の児童生徒を思い出しているようでした。

それぞれの学校に戻ったときには、児童生徒達との豊かな関わり合いを期待しています。